

令和4年度尼崎市立立花中学校 グランドデザイン

兵庫県の教育基本計画
「ひょうご教育創造プラン」

兵庫が育む
心豊かで 自立する人づくり

～「未来への道を切り拓く力」を育成～

通いたい・通わせたい・つとめたい
**未来志向の
魅力あふれる学校づくり**

学校経営方針

【教師の基本姿勢】

- ・心身共に健康である
- ・授業力を高め、学力向上に努める
- ・共感的理解に基づく生徒指導に努める
- ・積極的に実践し、学び続ける
- ・人としての在るべき姿を常に求め、その資質を兼ね備える

【生徒の実態】

- ・学校のきまり（服装や持ち物）を守り授業を大切にしている学習に取り組むことができる
- ・適切な言葉遣いや挨拶ができる
- ・学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている（肯定78%）
- ・その日のめあてを決めて授業や家で学習に取り組む（肯定34%）
- ・目標に向けて、ふだんからコツコツ学習している（肯定46%）
- ・友だちをばかにしたり、からかったりせずに、一人ひとりの心や命を大切にしている。（肯定55%）

法令及び「兵庫県教育基本計画」(県)・「教育振興基本計画」(市)を踏まえ、全教職員が共通理解のもと教育目標の達成に努める

教育目標

- ・志を高く保ち、粘り強く物事に取り組む、健康でたくましい心身を育てる
- ・よく学び、社会を知り、自らの行動を正しく判断・選択できる力を育てる
- ・他者を思いやり、互いに優しく支えあい、良好な関係を築ける人を育てる

尼崎市の教育方針

- ・目標や希望を持ち生涯を生き抜くことができる人
〈未来志向の教育〉
- ・人の気持ちや立場を尊重し互いに協働・協力できる人
〈個の尊厳や人権の尊重〉
- ・多様な他者と協働して主体的に地域社会に関わる人
〈家庭・地域社会との連携(子どもの視点に立った教育)〉

目指す生徒像

『強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生』

- ・目標や希望を持ち、強く生き、やり抜くことができる生徒
- ・集団の一員として正しく考え、協働、協力する生徒
- ・いじめを許さない、人の気持ちや立場がわかり優しく関わる生徒

柱1 生徒指導

規律ある集団づくり

基本的な生活習慣を身につける

- (1)健康・体力づくりを推進する
- (2)防災教育・安全教育の充実を図る
- (3)生徒指導の充実を図る～生徒指導の基本姿勢～
深い生徒理解に基づいた積極的な生徒指導を推進し、生徒と教職員の好ましい人間関係を築き、生徒の心の安定を図る
生活三原則の励行
「時を守り、場を清め、礼を正す」

柱2 学習指導

学び合う授業づくり

目標や希望を持ち、学び続ける意欲・態度を育てる

- (4)学力の向上を図る
「朝学習」の時間、「総合的な学習の時間」を充実させ、ICT機器等を効果的に活用し、「授業デザイン3つの視点」「評価と一体化」をした「生徒と教師が共に学ぶ授業」の展開を図る
- (5)キャリア教育の充実を図る
- (6)「あまっこ方針」に基づいた特別支援教育の充実を図る

柱3 特別活動指導

居場所づくり・絆づくり

豊かな心を育む

- (7)道徳教育の充実を図る
「特別の教科道徳」の時間を要し、教育活動全体を通じて道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- (8)特別活動の充実を図る
- (9)人権教育の充実を図る

柱4 地域・家庭との連携

家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く人づくり

信頼される学校づくりを行う

- (10)生徒・保護者アンケートを参考に学校評価を実施する
- (11)教育情報を積極的に公開する
- (12)教職に関する知識を深め、実践力を培う
部活動を支援する
- (13)教職員全員が協力し、主役を生徒としたサポートを行う
- (14)プレーヤーズ・センタードの考え方のもと、生徒の興味関心・能力を高め、個性を伸ばさせ、適切な指導・運営を行う。全生徒の加入を目指す
- (15)生徒が家庭生活・学習との両立が図れるよう、活動時間を守り、短時間で集中した効果的かつ安全な活動を行う

4本柱と 15の重点項目

PDCAサイクルによる



特別支援教育の視点に立った

生徒指導・生徒理解・地域、保護者、関係機関との連携

働き方改革

- 人のための組織づくり
- タイムマネジメント
(ノークラブ・ノー会議デー 定時退勤日の遵守)
 - 組織マネジメント
 - カリキュラムマネジメント